学校番号	319

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史　改訂版」　（山川出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）、世界史重要語句 Check List（啓隆社） 新世界史要点ノート〔標準編〕（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じ、世界中に人々の営みがあったことを知る。
・現代の出来事と歴史的背景を関連づけて考察する。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと流れを我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	学習活動を通して、世界の諸地域の歴史過程や文化、その交流に関心を持ち、学習活動に自ら積極的に学ぶ姿勢を養う。	世界の諸地域特有な民族・風土・文化を自ら考察することによって理解を深め、過去から現在へと継続する歴史過程を適切に洞察する能力を身につける。	教科書や資料集から適切な情報を読み取り、年表・地図の作成や書き込み教材への記述、授業での発言をすることで、その理解を深めることができる。	歴史的な事実を、各地域の歴史である縦軸と、その伝播・交流である横軸の交錯によるものとしてとらえ、全ての要素により世界史が成り立っていることを理解する。
評価方法	出席状況、授業態度、課題への取り組みと提出、ノートの提出などで評価	授業での発言やその考え方、定期テストなどで評価	授業での発言やその考え方、定期テストなどで評価	授業での発言やその考え方、定期テストなどで評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近世ヨーロッパ世界の形成	・ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服，それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているヨーロッパ人の航路と探検図，世界地図やアステカ征服の図版などの資料を適切に活用している。 d：大航海時代の探検・征服事業の過程とアメリカ先住民社会の変容に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		・ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されている作品群やルネサンス期の文化と美術の一覧表などを適切に活用している d：ルネサンスの意義やその具体的な文芸と美術に関する基本的な知識を身につけている。	
		・ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大，カトリック教会の対応を理解する。		○		○	b：宗教改革やカトリック教会の革新を，世俗の政治秩序の変化と関連づけて考察し，文章にまとめる。 d：ルター，カルヴァンによる宗教改革の拡大，イギリスの改革，対抗宗教改革に関する基本的な知識を身につけている。	
		・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と，体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。	○			○	a：ヨーロッパ諸国がたがいに独立した主権国家として競合しながら国際秩序を形成していった過程を，関心を持って学習しようとしている。 d：15世紀末からヨーロッパ諸国が主権国家体制を確立していった過程に関する基本的な知識を身につけている。 d：三十年戦争に代表される，17世紀前半の「危機の時代」におけるヨーロッパ諸国の動向に関して，	

							基本的な知識を身につけている。	
	近世ヨーロッパ世界の展開	・17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を，重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。	○			○	a ：イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争，東ヨーロッパ諸国の台頭を，関心を持って学習しようとしている。 d ：議会政治の確立したイギリス，ルイ14世の時代のフランス，プロイセンとオーストリアの抗争，バルト海の覇権をめぐる戦いなど，17～18世紀におけるヨーロッパ諸国の動向に関する基本的な知識を身につけている。	
		・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。			○	○	c ：教科書に掲載されている17世紀半ばのヨーロッパ諸国の植民地をあらわした地図，社会風俗の図版などを適切に活用している。 d ：西ヨーロッパ諸国の経済活動と植民地争奪戦争の状況，その結果としてアメリカ・アフリカを巻き込んだ大西洋世界に近代分業システムが成立したことに関して，基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		・17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色と，それを生み出した社会状況を理解する。	○			○	a ：科学革命と啓蒙思想を背景とするヨーロッパの文芸思潮について，関心を持って学習しようとしている。 d：科学革命や国際法，啓蒙思想，バロックやロココの芸術の具体的事例と，それを生み出した背景や社会状況に関する基本的な知識を身につけている。	

	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・イギリス産業革命の背景と展開，産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。			○	○	c：教科書に掲載されている産業革命期の地図や図版，都市の人口増を示す表などの諸資料を適切に活用している。 d：産業革命が最初にイギリスに起こった理由，繊維部門の技術革新と交通機関の改良，資本主義体制が世界市場に与えた影響などに関する基本的な知識を身につけている。	
		・アメリカ独立革命の経過と，独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。	○			○	a：共和政の大国を確立したアメリカの独立と，その憲法の内容や思想的背景を関心を持って学習しようとしている。 d：イギリスの北アメリカ植民地の状況，独立戦争の経過と合衆国憲法の特徴に関する基本的な知識を身につけている。	
		・アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。		○		○	b：フランス革命を大西洋を挟んで起きたアメリカ独立革命と対比しながら考察し，文章にまとめる。 b：ナポレオンの戦争を，国民国家の理念をヨーロッパ諸国に広げたことと関連づけて考察し，文章にまとめる。 d：フランス革命が起こった社会構造，恐怖政治に至る革命の進展過程に関する基本的な知識を身につけている。 d：皇帝ナポレオン誕生の背景やその大陸支配の経過に関する基本的な知識を身につけている。	
	欧米におけり近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立と，その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。	○			○	a：ウィーン体制の特色とその崩壊過程，社会主義思想の成立と普及について，関心を持って学習しようとしている。 d：フランスの革命運動を中心に，ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向に関する基本的な知識を身につけている。	
		・クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編，イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程，ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解す	○			○	a：ロシアの南下政策とそれに伴うヨーロッパ列強の対立，イタリア・ドイツの統一の背景や過程について，関心を持って学習しようとしている。 d：クリミア戦争とロシアの皇帝主導の近代的改革，ヴィクトリア時代のイギリスの繁栄，フランス第二帝政とその崩壊，イタリア・ドイツの統一とビスマルクによる協調	

		る。					外交といった，ヨーロッパ諸国の国民国家形成期の基本的な知識を身につけている。	
		・ラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領域拡大を示す地図や写真・図版などを適切に活用している。 d：ラテンアメリカの独立の経過，アメリカ合衆国の西部への領土拡張や，南北戦争以後，世界一の工業国として発展したことに関する基本的な知識を身につけている。	
2学期		・19世紀の欧米文化の特徴とその成立の背景を理解する。		○		○	b: ロマン主義や自然主義などの文芸思潮を，自由主義やナショナリズムの進展といった社会状況と関連づけて考察し，文章にまとめる。 d: ・19 世紀のロマン主義や自然主義などの思潮に属する文芸作品，哲学と人文・社会科学，科学・技術の発展，および地理上探検に貢献した人物たちに関する基本的な知識を身につけている。	
	アジア諸地域の同様	・西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革，アラブ諸民族の覚醒，イラン・アフガニスタンの動向を理解する。	○			○	a：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容について，関心を持って学習しようとしている。 d：オスマン帝国の動揺とタンジマート改革の挫折，アラブの民族運動，イラン・アフガニスタンの対応に関する基本的な知識を身につけている。	
		・インドの植民地化とその社会の変貌，東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。	○			○	a：ムガル帝国の解体と東南アジアの植民地化について，関心を持って学習しようとしている。 d：イギリスによるインドの植民地化とインド社会	

							の停滞から発生した大反乱，ヨーロッパ諸国の東南アジアの分割と植民地化に関する基本的な知識を身につけている。	
		・ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革，日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているロシアの東方進出や東アジアへの動向をあらわす地図，図版や写真，諸資料を適切に活用している。 d：アヘン・アロー両戦争やロシアの進出により清朝が動揺し，洋務運動に代表される近代化への取り組みが始まったことに関して，基本的な知識を身につけている。 d：日本と清朝の朝鮮をめぐる対立が激化し，日清戦争がおこる過程に関する基本的な知識を身につけている。	
	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。		○		○	b：19世紀後半から欧米で進展した第２次産業革命と，各国の帝国主義の動きを関連づけて考察し，文章にまとめる。 d：帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列国の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		・帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と，従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているアフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図，同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d：欧米列強のアジア・アフリカ・太平洋地域・ラテンアメリカにおける植民地獲得や勢力圏拡大の競争に関する基本的な知識を身につけている。 d：列強の二極分化の過程とバルカン半島をめぐる危機の高まりに関する基本的な知識を身につけている。	
		・欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	○			○	a：帝国主義列強の侵略にさらされたアジア諸国における民族運動の形成と，このような世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったことを，関心を持って学習しようとしている。 d：中国分割の危機と辛亥革命，インド，東南アジ	

							ア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。 d：日露戦争や韓国併合に見られる近代日本の台頭に関する基本的な知識を身につけている。	
	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし，20世紀の変動の基点となったことを理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているバルカン諸国や第一次世界大戦の戦場となった地域や領土拡大をあらわす地図，新兵器などの図版を適切に活用している。 d：第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格，経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。 d：ロシア革命の展開と，ソ連邦の成立過程に関する基本的な知識を身につけている。	
		・国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。	○			○	a：戦間期の国際協調と平和への取り組みが実を結ばなかった理由について，関心を持って学習しようとしている。 d：ヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点と，アメリカの繁栄，ソ連邦の社会主義建設といった欧米諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		・中国や東南アジア諸国，インド，トルコや西アジア諸国，アフリカの民族運動の展開を理解する。	○			○	a：アジア諸民族の民族運動が大衆的な基盤を持ち，世界史の新しい潮流をつくり出したことについて，関心を持って学習しようとしている。 d：中国における民族運動の高揚，ガンディーを中心としたインドの民族運動，ムスタファ＝ケマル	

							によるトルコ革命など，アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に関する基本的な知識を身につけている。	
		・世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から，国際的な緊張が高まる時代を理解する。			○	○	c：ファシズムという運動を20世紀における大衆社会の出現と関連づけて考察し，文章にまとめる。 d：世界恐慌の影響と欧米諸国の対応，ファシズム諸国の攻勢やソ連邦の動向に関する基本的な知識を身につけている。	
		・第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大，米ソの国際的地位の高まりを理解する。	○			○	a：第二次世界大戦の開戦に至る経過，戦争の拡大と戦場の広域化，核兵器などの大量破壊兵器の被害などを，関心を持って学習しようとしている。 d：第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋に至る戦場の広域化，強制収容所の建設や核兵器の使用といった残虐行為など，戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につけている。	
	冷戦と第三世界の独立	・第二次世界大戦後，米・ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・中華人民共和国の成立や朝鮮の分断，アジア諸地域の独立の過程を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているドイツとベルリンの分割図，第二次世界大戦後のアジア諸地域の独立を示す地図や図版を適切に活用している。 d：国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。	
		・朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から，日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって，国際政治や	○			○	a：朝鮮戦争後，核兵器開発競争や平和共存政策といった国際的な緊張・融和がくり返されたことについて，関心を持って学習しようとしている。 d：朝鮮戦争後の「雪どけ」と平和共存への試みに関する基本的な知識を身につけている。	

		経済が多極化に向かったことを理解する。					d：アメリカに続く西欧や日本の復興と経済成長に関する基本的な知識を身につけている。	
		・戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し，発言力を強めたことを理解する。 ・米・ソの両大国の動揺と国際的な影響力の減退を理解する。		○		○	b：アジア・アフリカ新興独立諸国による第三世界の台頭とキューバ危機以降の米・ソの政策を，冷戦の緩和と関連づけて考察し，文章にまとめる。 d：アジア＝アフリカ会議や非同盟諸国会議などに見られる，第三世界の連帯の動きに関する基本的な知識を身につけている。 d：キューバ危機やベトナム戦争，中ソ対立やソ連の東欧諸国に対する介入，西ドイツの東方外交による緊張緩和の進展などに関する基本的な知識を身につけている。	
		・ドル＝ショック，オイル＝ショック以降の国際経済の再編，冷戦の終結への流れを理解する。	○			○	a：オイル＝ショック以降の先進国の社会変容や新自由主義的改革，途上国の工業化について，関心を持って学習しようとしている。 d：オイル＝ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
	現在の世界	・東欧社会主義圏の消滅，ソ連邦の解体と民族紛争，グローバル経済の進展を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されている独立国家共同体の地図，ヨーロッパ統合の歩み，国内総生産による世界地図などの諸資料や写真を適切に活用している。 d：東欧社会主義諸国の改革，ソ連邦やユーゴスラヴィア連邦の解体過程，ＥＵやＮＡＦＴＡなど先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。	
		・途上国の民主化の進展と，アジア社会主義国家の変容を理解する。	○			○	a：ラテンアメリカやアジアの途上国における強権支配の後退と民主化の進展について，関心を持って学習しようとしている。	

							d：ラテンアメリカやアジアの途上国で進展した民主化の過程と，アジア社会主義諸国の経済開放政策やその変容に関する基本的な知識を身につけている。	
		・世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争，紛争解決や軍縮の試みを理解する。	○			○	a：新たな地域紛争の頻発，経済格差や深刻化する貧困問題など，現代の諸地域世界の情勢について関心を持って学習しようとしている。 d：東欧やロシア，中東からアジアにかけて多発する地域紛争，アフリカの民主化と貧困問題，対テロ戦争と紛争解決や軍縮の試みに関する基本的な知識を身につけている。	
		・情報技術・科学技術の発達と現代文明の抱える危機，現代思想や文化の特徴について理解する。		○		○	b：地球環境の破壊といった現代文明の危機を多角的に考察し，「多文化主義」や「共生」といった思想を探究し，文章にまとめる。 d：科学の実用化に伴う生活や環境の変化，現代文化の思想的な枠組み，現代文明による地球的規模での危機や新しい模索に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。